

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	青少年教育施設の運営充実		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
図書館未設置町村において図書館機能をもつ社会教育施設の整備に向けた機運を醸成する。	県	図書館機能をもつ社会教育施設等の整備		
		図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数(累計)		
		1市町村(27市町村)	1市町村(28市町村)	2市町村(30市町村)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。</p>				<p>社会教育関連施設等で一括貸出等のサービスを継続して実施するとともに、各教育委員会に対して既存施設への図書館機能整備に向けた支援を行う。</p>		

活動指標名	図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	27市町村	27市町村	28市町村	1市町村 (27市町村)	100.0%	順調	<p>県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、既存施設への図書館機能の整備に向けた情報提供を行った。</p>

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを等を社会教育施設で継続的に行う事で図書館未設置町村の読書環境の充実を図った。活動実績が目標値を上回ったため進捗状況は順調となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>図書館未設置町村において、県立図書館による読書サービスの実施・内容のさらなる充実、「沖縄県子ども読書指導員」の活用促進など、読書環境の充実に向け、取り組みを継続して行う。</p>	<p>「沖縄県子ども読書指導員」の申込を電子申請システムで作成したことで、図書館未設置町村の多い北部地域での活用が促進した。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	移動図書館の広い世代への周知が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	WebサイトだけでなくSNSも活用した広報活動を充実させる。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	図書館未設置町村に図書館機能を持つ社会教育施設等がない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	防災センターなどの設置時に図書館機能を加える助言を行う (久米島町などの事例紹介)

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	社会教育指導者研修会		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の社会教育指導者が一堂に会し、地域づくりや地域活性化に向けた実践的な取組に対する成功事例を学び、社会活動と社会教育行政を推進する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	県	多様な学習活動を支える社会教育指導者の養成		
		研修会の開催数(累計)		
		7回	7回(14回)	7回(21回)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—□

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		社会教育研究大会		予算事業名		社会教育研究大会
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	直接実施	30	199	県単等	直接実施	440
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県大会を令和4年6月10日に開催した。対面とオンラインのハイブリッドで実施した。行政説明と市町村事例報告（中頭地区）、講演を行った。				県大会を令和5年6月9日に開催予定。行政説明と市町村事例報告（宮古地区）、講演を行う予定。		

活動指標名	研修会の開催数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	4回	3回	8回	7回	100.0%	順調	当初、対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、オンラインでの開催となった。行政説明と市町村事例報告（中頭地区）、講演する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

研修会開催数は、計画値7回に対して実績値8回である。県大会1回、地区大会7回開催した。コロナ禍の中、実施方法の変更があったが実施できた。これからの時代における社会教育の重要性や先進的事例を学ぶ機会になった。動画の視聴者のスキルやモチベーションのアップにつながったと考える。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内やほか県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。また県や市町村の社会教育委員と社会教育主事が連携して取り組む必要のある課題をテーマとし、テーマのもと各地域で取り組むべきことや人的資源をどのように活用すべきかを協議し合う研究会を行う。</li> <li>対面だけでなくオンラインやハイブリッドのいずれの方法でも開催ができるよう、zoomや関連ソフトのスキル向上を課内で図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府認定地域活性化伝道師三角幸三氏を講師として、「地域の活性化にむけた社会教育の役割」と題して講演をする。地域と学校の連携・協働や家庭教育リーダー養成と活動支援について学び、これからの社会教育の方向性を考える機会となった。</li> <li>令和4年度の県大会はオンラインで開催した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育主事や社会教育委員は社会教育を推進する上で重要な役割を担っており、課題解決に向けて主体的に取り組むための資質・能力 (ファシリテーション・コーディネート力) が求められている。</li> </ul>	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内やほか県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。県や市町村の社会教育委員や社会教育主事が連携し研究会を行う。</li> </ul>
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、市町村の中には社会教育活動の停滞があり十分に機能していないところがある。各地区の取り組み状況を発表する機会を設定しほか事例に学び調査や建議に向けたプロセスを習得する必要がある。</li> </ul>	⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面だけでなくオンラインやハイブリッドのいずれの方法でも開催ができるよう、Zoomや関連ソフトのスキル向上を課内で図る。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	図書館機能を持つ社会教育施設の整備促進		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
既存の公民館等に図書室整備を推進するとともに、公民館等社会教育施設に図書室を設置している町村を訪問し、機能の整備・充実が図られるよう支援する。	県,市町村	公民館等図書室の整備		
		図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		
		46%	54%	70%
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県立図書館の一括貸出等サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設で実施した。また、県立図書館と横断検索システムの導入に取り組んだ。</p>				<p>引き続き一括貸出等のサービス実施や横断検索システムの導入に取り組むとともに、既存施設への図書館機能整備を促進する。</p>		

活動指標名	図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	33.4%	33.4%	33.4%	46%	72.6%	やや遅れ	県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、横断検索システムを導入するなど、既存施設への図書館機能の整備促進を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の貸し出しサービスを実施する事で、図書室整備に向けた気運を醸成できた。活動指標である図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率の達成割合は72.6%となっており、進捗状況はやや遅れとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館未設置町村において、地域住民への一般開放している学校や公民館図書室を訪問し、早期から相談内容を確認し、適切な情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与那国町の公民館図書室を訪問し、設置までの流れや課題等の説明を受け、必要なところへ情報提供した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	図書館機能を持つ、または移動図書館の受入ができる公民館等の施設のない町村がある。	① 執行体制の改善	既存施設でのサービス受入について支援するとともに、公民館等社会教育施設以外にも、地域住民への一般開放している学校図書館の活用など幅広く検討し、情報提供する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	青少年教育施設の整備		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内6ヵ所の青少年教育施設において危険箇所や施設の運営に影響を及ぼす箇所の修繕及び老朽化した設備や備品等を更新する。	県,市町村	施設や設備等の整備による県立青少年の家の環境改善		
		環境改善を図る施設数(内訳)		
		6施設	6施設(継続6施設)	6施設(継続6施設)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 青少年教育施設営繕事業				予算事業名 青少年教育施設営繕事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	直接実施	8,762	11,682	県単等	直接実施	40,547
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
宮古青少年の家耐震改修工事設計、非常放送設備の更新及び受電設備（高圧気中負荷開閉器）の修繕等を行った。				宮古青少年の家耐震改修工事、石垣青少年の家耐震改修工事設計、厨房備品等を更新する。名護青少年の家大規模改修工事の工程及び施工法等を調整する。		

活動指標名	環境改善を図る施設数（内訳）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	6施設	6施設	6施設	6施設	100.0%	順調	宮古青少年の家耐震改修工事設計を行った。糸満及び名護青少年の家については、非常放送設備や受電設備の修繕等を実施し、その他の施設についても雨漏り修繕等施設の老朽化に伴う修繕や厨房備品等の更新を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>青少年の家の老朽箇所の修繕及び老朽化した設備や備品等の更新を行う事で、県立青少年の家の環境改善が図られた事から進捗状況は順調とした。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉城青少年の家については、新館の工事完了・利用開始、旧館解体後の多目的広場等整備に向けて取り組む。</li> <li>・宮古青少年の家について耐震補強の設計を行うとともに、石垣青少年の家の耐震補強工事について検討する。</li> <li>・その他施設の老朽箇所について、指定管理者を通じて状況把握に努め、利用者の安全を優先した改善措置を行うとともに、長寿命化に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉城青少年の家は、令和5年度に工事が完了し利用を開始する予定である。</li> <li>・宮古青少年の家は、令和5年度には耐震補強工事を実施予定である。また、石垣青少年の家も令和5年度に耐震補強工事の設計業務委託を予定している。</li> <li>・名護青少年の家は、施設の長寿命化のため令和5年度に大規模改修工事を行う予定であり関係機関との連携及び調整を密に行う。糸満青少年の家も令和5年度に大規模改修工事設計を実施するため、指定管理者と連携し修繕箇所を漏れなく確認し設計に反映させる。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	大規模改修工事は通常の修繕と異なり、建築、設備等複数の工事を同時に長期間実施するため工程管理や施工方法の検討等専門的な知識が必要となる。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	大規模改修工事では、完全に施設を閉所し利用者の受入を停止する期間が生じる。その場合、指定管理者の運営計画に支障を来さないよう配慮が必要。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	施設利用者を受入ながら改修工事を実施するため、利用者の安全を最優先に確保する必要がある。また、工事のため利用時間や活動プログラムが制限される可能性があり利用者の理解を得る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、技術面の指導及び協力を得る事で工事を円滑に進める。
② 連携の強化・改善	指定管理者へ工事に関する情報共有を行い、問題が発生した場合は迅速且つ柔軟な対応を行う等、運営に支障が生じないよう指定管理者、県関係者、工事受注業者と連携を密にする。
⑧ その他	工事区域と利用者用区域の明確な区分分け等安全対策を徹底する。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めるとともに、利用申込時に丁寧な説明を心がける等利用者の理解を求める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	組踊等教育普及啓発事業		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
組踊、琉球舞踊、琉球歌劇等の本県独自の無形文化財について、鑑賞機会の少ない県内の児童生徒を対象に公演およびワークショップを実施する。	県	組踊・沖縄伝統芸能の実演家によるワークショップの開催		
		組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/madoguchi/soshiki/bunkazai/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/madoguchi/soshiki/bunkazai/index.html</a> □□

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業				予算事業名 組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	2,160	1,828	県単等	委託	1,561
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄本島全地域の小中学生対象に伝統芸能のワークショップを3回実施（組踊2回、沖縄芝居1回）し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせた。				沖縄本島全地域の小中学生対象に伝統芸能のワークショップを3回実施し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせる。		

活動指標名	組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	2回	3回	3回	100.0%	順調	ワークショップを計画通り3回実施した。内訳は、組踊ワークショップは2校2回（小学校1、中学校1）、沖縄芝居ワークショップは1校1回（中学校1）である。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
当初計画通り3回実施され、理解度も目標値を超えているため順調である。小、中学校生それぞれに対応した体験型学習（ワークショップ）の効果がみられる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍において感染症対策を講じた安全な公演が実施できるよう、感染症対策における最新の情報を収集して委託業者と研究を重ね、実施校および市町村教育委員会等と連携を図る。</li> <li>・ 事前・事後学習につながる教材（解説書）を提案し、体験型ワークショップの学習効果を高める。</li> <li>・ 低学年の児童や特別支援学校の生徒でも理解しやすいよう、琉球古語の字幕やワークショップのアプローチを委託業者と研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策の結果、実施校において集団感染の報告はなく、安全な公演実施となった。</li> <li>・ 解説書に本事業の内容理解につながるクイズ形式を採用した。</li> <li>・ 琉球古語については、出演者が口頭で説明するなど臨機応変に対応した。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄芝居ワークショップでは、新型コロナ感染症対策の影響もあり、解説時間が長くなっていた。アンケートには、体験活動の時間を増やしてほしいとの意見もみられた。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	解説と体験活動のバランスを再調整する。セリフの覚えなど新型コロナ感染症対策で、できなかった体験活動を組み込むなどの工夫をする。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	文化振興事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内有数の芸術団体による舞台芸術鑑賞機会を県内へき地・離島の児童・生徒に提供する。校区や地域、広くは県内・県外に在住する芸術家や技能保持者等を学校に派遣する。	国,県	児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供		
		芸術鑑賞実施校数(累計)		
		70校	70校(140校)	70校(210校)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄県芸術鑑賞機会提供事業				予算事業名 沖縄県芸術鑑賞機会提供事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		当初予算額
		県単等	委託	474	735	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
文化庁による鑑賞機会提供事業を実施。また、県事業において、宮古島市で音楽鑑賞会を2公演実施した。				文化庁による鑑賞機会提供事業を実施。また、県事業において、離島・へき地での公演を実施予定。		

活動指標名	芸術鑑賞実施校数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	88校	99校	132校	70校	100.0%	順調	文化庁、県、市町村との共催により音楽や演劇等の鑑賞やワークショップを実施した。また、離島やへき地での児童生徒に芸術鑑賞提供するため、宮古島市で音楽鑑賞会を2公演実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

各教育委員会との連携を図り、本事業を周知した。この取組を継続したことによって、応募校の増加につながった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて多くの公演が実施され、鑑賞校数は、132校と目標値を上回ることができた。進捗状況は順調である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募数の少ない市町村には応募を再度呼びかける。</li> <li>・ 過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校が応募できるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募数の少ない市町村 (R4年度は宮古島市) に応募を呼びかけた。</li> <li>・ 県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校が応募できるよう支援した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県は、学力向上対策が最重要課題である。このため各学校とも授業時数の確保等を優先する傾向が見られる。</li> </ul>	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。</li> </ul>
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの県に比べても離島が多いことなどから、準備や移動に時間を要するため開催回数が限られる。芸術文化に触れる機会がまだまだ足りない。</li> </ul>	⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	青少年文化活動事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟が行う派遣費助成へ補助することで、文化活動の発表の場を確保するとともに、各分野の技術向上と充実を図ることを目的とする。	県	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助		
		中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数(累計)		
		2,000人	2,000人(4,000人)	2,000人(6,000人)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	<a href="http://www.okikoubunren-as.open.ed.jp/">http://www.okikoubunren-as.open.ed.jp/</a> 、 <a href="http://ochubun.chu.jp/">http://ochubun.chu.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		青少年文化活動事業費		予算事業名		青少年文化活動事業費
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	14,167	17,982	県単等	補助	15,878
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟へ補助し、生徒の文化活動を支援した。コロナ禍で中止もあったが、感染症対策を講じ県内外の大会を開催した。				県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟へ補助し、生徒の文化活動を支援する。また各種大会など発表の場を確保し、各分野の技術向上を図る予定。		

活動指標名	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	395人	656人	1,743人	2,000人	87.2%	概ね順調	文化活動の発表の場を確保するとともに各分野の技術向上を図るため、中高の文化連盟に派遣費等を補助した。感染症防止のため中止等となる大会もあったが、進捗状況はおおむね順調である。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県外大会や県内大会への離島生徒の大会派遣費の補助について継続的に支援した。新型コロナウイルス感染症対策のため、中止やネット開催等となる大会もあったが、県中学校総合文化祭や県高等学校総合文化祭は感染症対策を講じて開催できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中文連においても高文連同様、共催大会を派遣補助対象大会として拡大を図り、保護者の経済的な負担を軽減するために引き続き支援する。</li> <li>・ 県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために高文連と連携し、楽器等の運搬費補助について、継続して支援する。</li> <li>・ 中文連、高文連に対して、感染症等に係るイベント実施ガイドライン等の周知、支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中文連において、共催大会を派遣補助対象大会として拡大を図り、保護者経済的な負担を軽減するために支援した。</li> <li>・ 県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために高文連と連携し、吹奏楽や郷土芸能部門等の運搬費補助について継続して支援した。</li> <li>・ 中文連、高文連に対して、感染症等に係るイベント等実施ガイドライン等の周知、支援し、感染対策を講じ大会開催につなげた。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	離島生徒の参加については、県内大会そして県外大会と航空機や船等の利用が必須のため保護者の経済的負担が大きい。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために文化連盟と連携し、吹奏楽部門等の運搬費補助について継続して支援する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナウイルス感染症状況によっては、大会の中止、規模縮小等の可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	中文連、高文連に対して、新型コロナウイルス感染症に係るイベント等実施ガイドライン等の周知、支援し、大会開催につなげる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア 地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
		施策の小項目名	○「しまくとぅば」の普及促進
主な取組	しまくとぅば学習活動の実施（高等学校）	対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとぅば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
高等学校におけるしまくとぅば学習活動の推進及び関連する情報の周知を図る。	県	高等学校におけるしまくとぅば学習活動の推進及び関連する情報の周知		
		高等学校の教育活動におけるしまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		60%	63%	66%
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課	【 098-866-2715 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>教員に対し、しまくとぅば普及センターのコーディネーターの協力を得て、沖縄県立総合教育センターで「うちなーぐち実践指導講座」を実施。</p>				<p>教員に対し、しまくとぅば普及センターのコーディネーターの協力を得て、沖縄県立総合教育センターで「うちなーぐち実践指導講座」を実施する予定。</p>		

活動指標名	R4年度					進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
高等学校の教育活動におけるしまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合							
実績値	—	57.4%	77.9%	60%	100.0%	順調	国語科や音楽科等の授業、総合的な探究の時間や特別活動等において、しまくとぅばに関する学習活動に取り組んだ。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標を上回る77.9%の学校でしまくとぅばに関する学習活動が実施され、生徒がしまくとぅばを学ぶ機会を確保することができており、進捗状況は順調である。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程説明会等において、学習指導要領の範囲内において、副読本を教材として活用する学習指導計画について説明する。</li> <li>・「うちなーぐち実践指導講座」を引き続き開催するとともに、本講座について周知を図り、積極的に参加を呼びかける。</li> </ul>	<p>しまくとぅば普及センターと連携し、沖縄県立総合教育センターにおいて「うちなーぐち実践指導講座」を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内各地域において、しまくとぅばの話者が少なくなっている状況の中で、学校現場において、しまくとぅばを系統的に指導できる教員が少ない。
⑦ その他(改善余地の検証等)	高等学校は広範囲な地域の生徒が在籍するため、特定の地域の「しまくとぅば」を教えることは難しい。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	しまくとぅばを系統的に指導できる教員を育成するため、しまくとぅば普及センター等と連携して「うちなーぐち実践指導講座」を開催し、教員の資質向上を図る必要がある。
⑧ その他	生徒自らが「しまくとぅば」に関連した課題を設定して学習に取り組む探究的な学習や特別活動などを推奨し支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○「しまくとぅば」の普及促進
主な取組	しまくとぅば学習活動の実施 (小学校・中学校)		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとぅば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
小・中学校の学校教育において、しまくとぅばに関する講話会の開催や、授業等で活用するための地域人材派遣について、「しまくとぅば普及センター」と連携協力する。	県	「しまくとぅば読本」や「しまくとぅばの日」など、しまくとぅば学習活動に関連する情報の周知及び推進		
		学校の教育活動における、しまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		小学校 84% 中学校 87%	小学校 87% 中学校 89%	小学校 90% 中学校 91%
担当部課【連絡先】	教育庁義務教育課	【 098-866-2741 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
総合的な学習の時間等や学校生活において「しまくとうば読本」の活用促進を図った。読本の活用状況について文化振興課と連携して把握した。				「しまくとうば読本」を総合的な学習の時間等や学校生活での活用促進を図る。読本の活用状況について文化振興課と連携して把握する。		

活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	85%	82%	82%	小学校 84%	97.6%	順調	各学校においてしまくとうばに関する授業を行う際に、「しまくとうば読本」の活用を促した。「しまくとうばの日」を周知するとともに、各学校での実践事例等を紹介した。
活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施		R4年度				
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	91%	85%	84%	中学校 87%	96.6%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>「しまくとうば読本活用状況調査（令和4年度調査）で授業で「活用した」「3月末までに活用予定」と答えた学校は小学校が82%、中学校が84%であった。また学習発表会やあいさつ、運動会などでしまくとうばを活用した事例等、しまくとうばに親しむ環境づくりができたことから順調とした。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しまくとうば読本」の効果的な活用について文化振興課と連携を図り、担当者連絡会に参加し、学校での利活用促進に繋がる内容を検討していく。</li> <li>・「しまくとうばの日」について今後も周知を図り、学校の実態に応じて、学校行事やクラブ活動等で「しまくとうば」を取り入れられるようにし（具体的な取組、事例や情報の提供など）、希望する市町村には、事例などを情報提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態に応じて、学校行事やクラブ活動等で「しまくとうば」を取り入れられるよう具体的な取組、事例や情報の提供など情報提供を行った。また「しまくとうば普及センター」（文化振興課主管）において、小中学校に人材を派遣し授業やクラブ活動等で活用した。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「しまくとうば読本活用状況調査」の結果を踏まえ「しまくとうば読本」の効果的な活用について、学校での利活用が促進されるように検討する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	しまくとうば読本の活用促進と活用状況の事例提供
⑦ その他(改善余地の検証等)	「しまくとうばの日」について、改めて生まれ育った地域の風土や文化のよさを再認識させるために、今後も情報共有や周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	毎年9月18日のしまくとうばの日について小中学校への周知と取組の促進を依頼